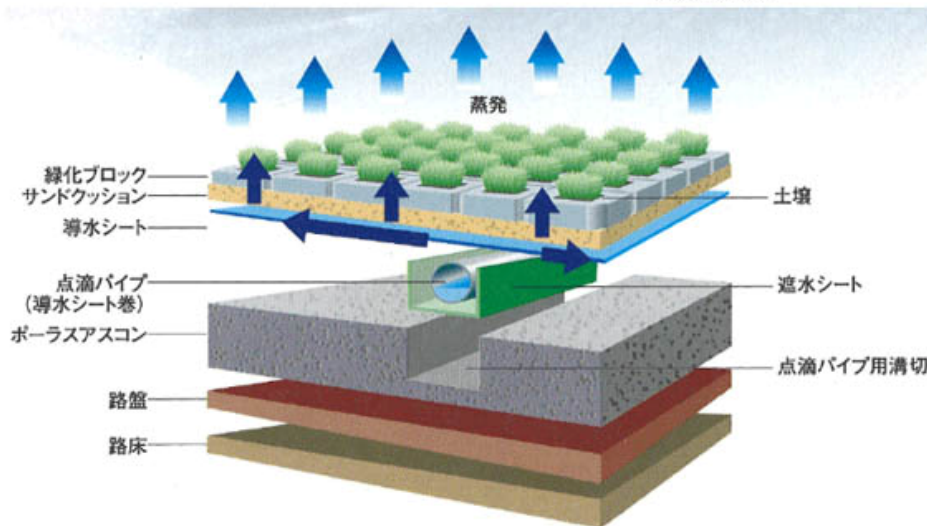


打ち水グラスパークとは？

道路や駐車場などのアスファルト舗装は、ヒートアイランド現象や都市型水害の要因となっています。打ち水グラスパークは、給水システムと保水性がある緑化舗装用コンクリートブロックによって、日射による急激な温度上昇を防ぐ技術です。都市の環境負荷を低減し、涼しい潤いのある生活空間を提供します。



車両が走行する場所も緑地化し、自動灌水で摩擦や熱から植物の生育を守ります



緑化舗装用コンクリートブロックと、導水シートによる底面灌水システムを組み合わせたシステムです

お客様のメリット

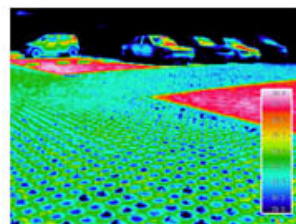
1 アスファルト 舗装路を青々とした空間に

- 自動灌水機能を備えるので、水切れの心配がなく、健全な植物の生育が可能です。
- 青々とした敷地内緑化は、景観性と不動産価値を向上させます。



2 ブロック温度は最大で13℃ほど下がります

- 真夏の日中、従来の緑化ブロック舗装と比べ、ブロック温度が最大13℃下がります。



サーモグラフィ画像によるインターロッキング舗装との表面温度の比較(6月撮影)

3 ムダのない給水が可能になります

- 拡散性の高い導水シートによる底面灌水なので、散水と比べて給水むらがなく節水が可能です。
- 給水はタイマーで制御し、均一な湿润状態を自由な日時設定で持続できます。

4 都市の水循環にも貢献できます

- 雨水を利用できるほか、大林組が開発した打ち水ペーパードなどと組み合わせ、効率良く水を利用できます。
- 雨水は地中へ浸透するので、都市の雨水流出抑制に貢献します。